

令和4年度留学生交流実務担当教職員養成プログラム 募集要項

独立行政法人日本学生支援機構

1. 目的

留学生交流実務担当教職員養成プログラムは、独立行政法人日本学生支援機構（以下「機構」という。）が、我が国の大学、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）、準備教育施設、日本語教育機関及び留学生関係団体（以下「学校等」という。）において留学生交流業務に携わる教職員に対して、我が国への留学生受入れ及び海外への留学生の派遣に関する分野の専門的知識や適切な実務研修の機会を提供することにより、我が国における留学生交流（受入れ及び派遣）体制の整備・充実に資することを目的として実施します。

2. 内容

新型コロナウイルス感染症の拡大による各国の入国制限により、学校等において、日本人学生の海外派遣プログラムを実施できない状況が続いていましたが、ワクチン接種の普及、ウィズコロナ政策への転換等により、実際の渡航を伴った留学生交流が再開されつつあります。一方で、感染症の蔓延、政情不安やテロ、治安悪化等、日本人学生が派遣先国にて巻き込まれる新たなリスクが顕在化しており、派遣先での日本人学生の危機管理は学校等において、強化する必要がある課題の一つとなっています。今回は、「派遣日本人学生のリスク管理・危機管理」というテーマで、海外における危機管理の専門家、海外留学経験者による講演及びパネルディスカッション等を通して、参加者がそれぞれの学校等での取組に資するよう必要な知識・情報を提供します。

3. プログラム内容（予定）

- | | |
|---|--|
| (1) 主催者挨拶等 | 13時15分～13時20分 |
| (2) 講演『派遣日本人学生のリスク管理・危機管理
～感染症・メンタルヘルスを中心に～』 | 13時20分～14時05分
関西福祉大学教授 勝田 吉彰氏 |
| (3) 講演『派遣日本人学生のリスク管理・危機管理』 | 14時05分～14時50分
鳥取大学准教授 竹田 洋志氏 |
| 休憩 | 14時50分～15時00分 |
| (4) パネルディスカッション
<登壇者> | 15時00分～16時30分
(モデレーター) 東京工業大学准教授 佐藤 由利子氏
(パネリスト) 関西福祉大学教授 勝田 吉彰氏
(パネリスト) 鳥取大学准教授 竹田 洋志氏
(パネリスト) コロナ禍での海外留学を経験した日本人学生1名 |
| 閉会 | 16時30分 |

4. 日時及び実施方法

- (1) 日時：令和4年8月29日（月） 13時15分～16時30分
- (2) 実施方法：オンライン開催（Zoom ウェビナーを利用）
- (3) 定員：1,000名

5. 受講対象

大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校、留学生関係団体等において留学生交流業務に携わる教職員等

6. 受講申込方法

以下の受講申込フォームから参加申込みをしてください。

<https://www.online-system.jasso.go.jp/survey/youseir4/ja>

< 申込締切り期限 >

令和4年8月3日（水曜日）18時まで

注：同一のご所属機関から複数名参加の場合、お一人ずつ申込フォームにご入力・送信していただきますようお願いいたします。

< 当日の URL や資料等の送付のご案内について >

8月25日（木曜日）までに、受講申込フォームより、届け出のあったメールアドレス宛に別途お知らせいたします。

※留意事項

- ・受講申込フォームにてご登録完了後、入力いただいたメールアドレスに登録完了のメールが送付されますのでご確認ください。（登録完了のメールを受信された方は受講可能となります。）

7. 受講経費

受講費は無料です。

8. その他

大規模災害等の発生等、やむを得ない事情にて本プログラムが成立しない恐れがある場合には、実施直前でも中止または本プログラムの内容を変更することがあります。

なお、実施日程や内容等が都合により変更になる場合においては、上記6の申込フォームにて届け出のあったメールアドレス宛に連絡をすると共に機構ホームページへの掲載を以って周知いたします。

【本件に関するお問い合わせ先】

独立行政法人日本学生支援機構

留学生事業部 留学情報課 企画調査係

「教職員養成プログラム担当」

〒135-8630 東京都江東区青海 2-2-1

電話：03-5520-6111 FAX：03-5520-6121

E-Mail：chosa-ryugaku@jasso.go.jp